

日本語の「（よ） と思う」「たいと思う」 の用法から考える 英語学習者の *I think* の使用について

金沢じゅん

東京大学大学院博士課程

jun-kanazawa347@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

日本英語教育学会・日本教育言語学会 第52回年次研究集会

2022年2月27日

日本人英語学習者の *I think* の多用

- 日本語を第一言語とする英語学習者は、***I think*** を多用しがち（Natsukari 2012; 中西・中寄・ダンテ 2016; 成田 2017; 石川 2019 他）。
- 日本人中高生のライティング・コーパス（JEFLC Corpus）

(1) [お年玉〇万円もらったら、何を買いますか？]

I was given otoshidama many than last year. ... I think try to chokinnsuru. But in saikinn, ***I think I want to*** buy video printer.

Because I saw it nesage sareteiru in the shop. (JEFLC_07328_Otoshidama)

(2) [大地震が来たら何を持って逃げますか？]

I think I will bring pets and 貯金通帳 Why ? Because, First, I don't have brother and sister だから pets are my 大切な family. I will bring it.

(JEFLC_02923_Earthquake) **2**

日本人英語学習者の *I think* の多用

- 日本語を第一言語とする英語学習者は、*I think* を多用しがち（Natsukari 2012; 中西・中寄・ダンテ 2016; 成田 2017; 石川 2019 他）。
- 日本人中高生のライティング・コーパス（JEFLC Corpus）

(1) [お年

I was

choki

Beac

I think I will... や *I think I want to...*

の誤用について

(2) [大

~~I think~~

brother and sister だから pets are my 大切な family. I will bring it.

don't have

日本語からの転用

- *I think I will...* や *I think I want to...* の誤用
- 「～（よ） と思う」「～たいと思う」という日本語の転用
- 例：
 - (3) 父も他界し、今は私一人だけれど、両親への恩返しにしっかり生きていこうと思う。
(2016/02/22 「思い出胸に ひな飾り」)
 - (4) 当然のように思っていたが、苦勞がわかった。母への感謝を忘れず、手伝いたいと思う。
(2016/03/08 「母の苦勞に感謝」)

日本語からの転用

- *I think I will...* や *I think I want to...* の誤用
- 「～（よ） と思う」「～たいと思う」という**日本語**の転用
- 例：
 - (3) 父も他界し、今は私一人だけれど、両親への恩返しにしっかり生きていこう。
(2016/02/22 「思い出胸に ひな飾り」)
 - (4) 当然のように思っていたが、苦勞がわかった。母への感謝を忘れず、手伝いたい。
(2016/03/08 「母の苦勞に感謝」)

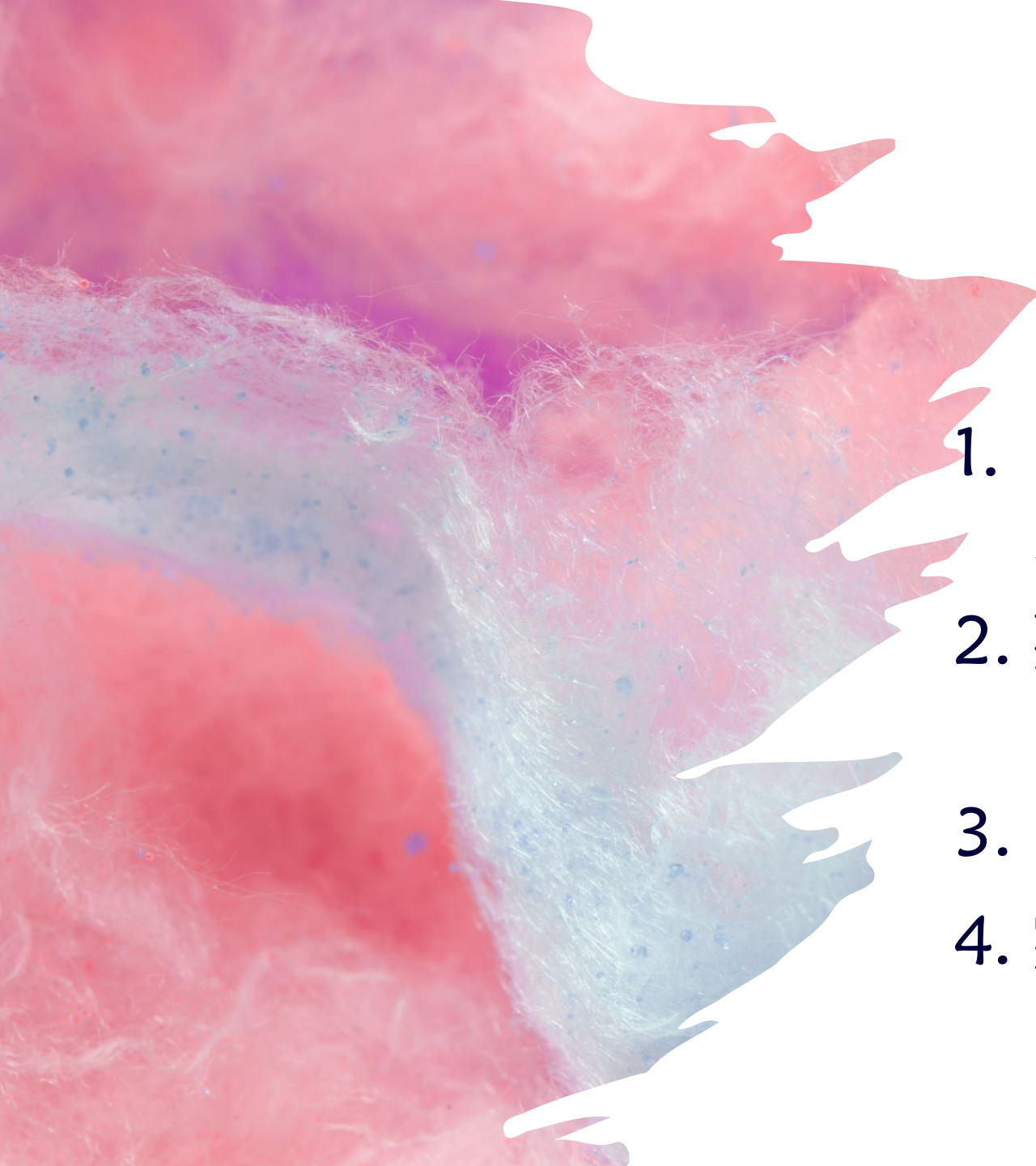
日本語からの転用

- *I think I will...* や *I think I want to...* の誤用
- 「～（よ） と思う」「～たいと思う」という日本語の転用
- 例：
 - (3) 父も他界し、今は私一人だけ生きていこう**と思う**。
「と思う」はなくて
もいいが、あっても
自然
 - (4) 当然のように思っていたが、苦勞に感謝を忘れず、手伝い**たいと思う**。
(2016/03/08「母の苦勞に感謝」)
- *I think* の誤用は、日本語の「と思う」の機械的な転用（中西・中寄・ダンテ 2016）
- 日本語ではなぜ「と思う」を付けるのか？付けて自然なのか？

なぜ、「と思う」
を付けるのか？

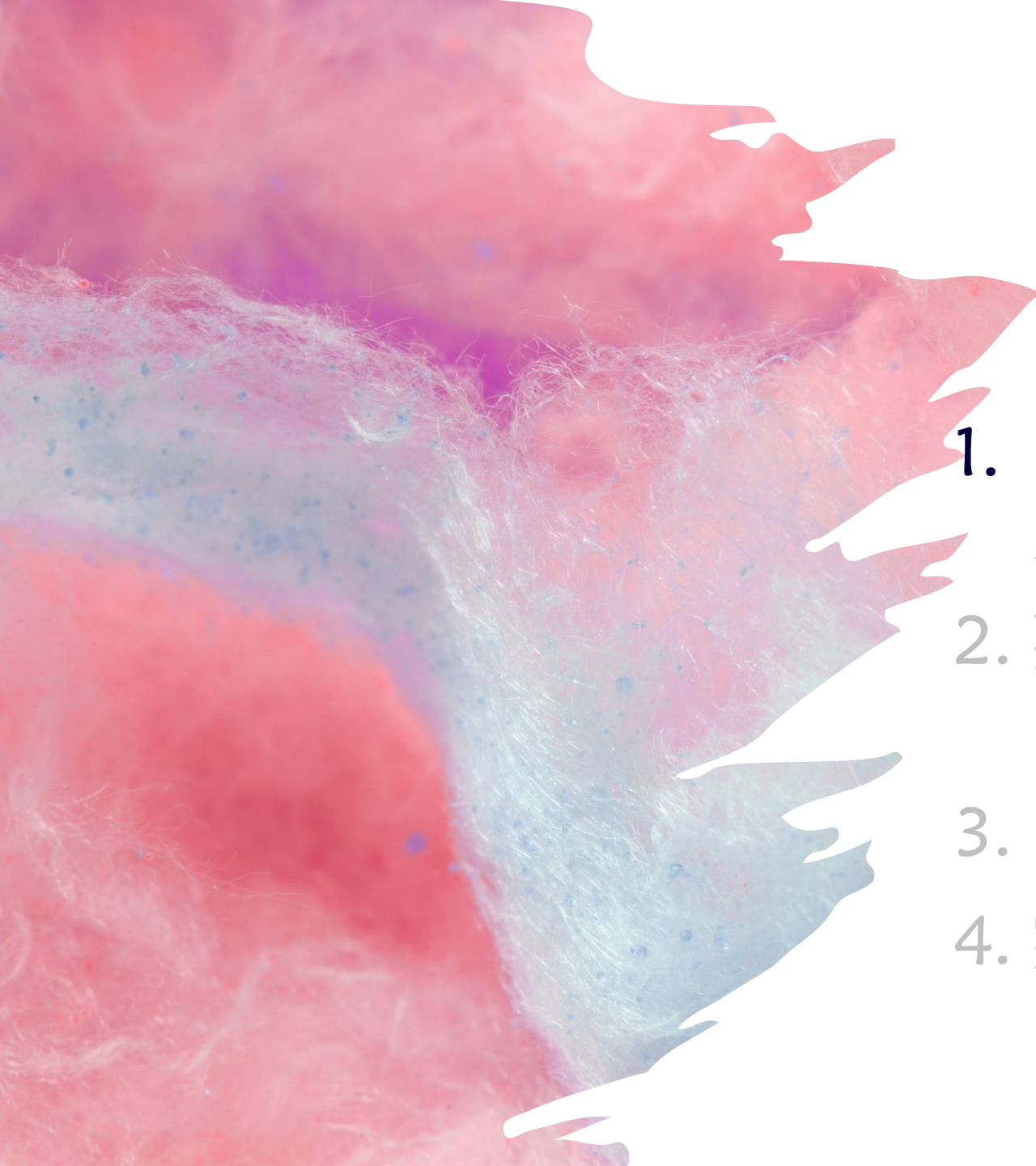
本研究の目的

1. *I think I will* や *I think I want to* という誤用が生じる理由を、書き言葉の「(よ) うと思う」「たいと思う」の分析を通じて示す
2. ライティング教育における *I think* の教授・習得には、「と思う」の用法の知識が重要



目次

1. 日本語の「（よ） と思う」「たいと思う」の説明
2. 英語の *I think I will* や *I think I want to* の説明
3. 日英比較
4. 実際の誤用例



目次

1. 日本語の「（よ）うと思う」「たいと思う」の説明
2. 英語の *I think I will* や *I think I want to* の説明
3. 日英比較
4. 実際の誤用例

「（よ）うと思う」「たいと思う」の先行研究

- 文末で用いられる「（よ）う**と思う**」「**たいと思う**」
- 作例や対話場面を想定した分析
 - 聞き手のより深い知識に働きかける（小野 2001, 2005）
 - 「約束」と「予定」の違い（宮崎 1999, 2001）
 - 独り言を対話の発話に変更する（仁田 1991）
- **書き言葉**において、「（よ）う」「**たい**」になぜ「**と思う**」が付くのかについては、明らかになっていない。
- 新聞の投書記事における「**と思う**」の機能（金沢 2022（採択済み））

分析対象

(5) a. 今年はたくさん勉強しよう。

文末の意志の「(よ) う」
「ようと思う」

b. 今年はたくさん勉強しようと思う。

c. 今年はたくさん勉強したい。

文末の希望の「たい」
「たいと思う」

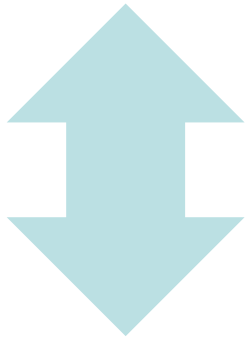
d. 今年はたくさん勉強したいと思う。

(よ) う。	(よ) うと思う。	たい。	たいと思う。
40	43	353	66

結論

- (5) a. 今年はたくさん勉強しよう。
c. 今年はたくさん勉強したい。

あたかも読み手を意識
していないかのような
印象を付与



- b. 今年はたくさん勉強しようと思う。
d. 今年はたくさん勉強したいと思う。

読み手に向けて伝えて
いることを明示
(宣言)

意志の「（よ）う」

(6) (前略) 職場に自分の傘を忘れてきたため、とっさに(孫が生まれる前に亡くなった)父の傘を手にと子どもの手を引いて保育園へと急いだ。道中、ふと傘を持つ手に温かさを感じた。私を介して父が、孫の手を握っているような感覚がしたのだ。そういえば父は、「俺が保育園に連れていくんだ」と張り切っていたっけな。また雨の日の送迎は、父の傘を使おう。この子が大きくなって、じいじの傘を使ってくれるといいな。それまで壊れないといいけど。

(2017/06/04「子の送迎 じいじの形見で」)

意志の「（よ）う」

- (6) (前略) 職場に自分の傘を忘れてきたため、とっさに(孫が生まれる前に亡くなった)父の傘を手にと子どもの手を引いて保育園へと急いだ。道中、ふと傘を持つ手に温かさを感じた。私を介して父が、孫の手を握っているような感覚がしたのだ。 **そういえば父は、「俺が保育園に連れていくんだ」と張り切っていたっけな。また雨の日の送迎は、父の傘を使おう。この子が大きくなって、じいじの傘を使ってくれるといいな。それまで壊れないといいけど。**

(2017/06/04「子の送迎 じいじの形見で」)

独り言的な表現

意志の「（よ）う」

(6) (前略) 職場に自分の傘を忘れてきたため、とっさに(孫が生まれる前に亡くなった)父の傘を手にと子どもの手を引いて保育園へと急いだ。道中、ふと傘を持つ手に温かさを感じた。私を介して父が、孫の手を握っているような感覚がしたのだ。そういえば父は、「俺が保育園に連れていくんだ」と張り切っていたっけな。また雨の日の送迎は、父の傘を使おう。この子が大きくなって、じいじの傘を使ってくれるといいな。それまで壊れないといいけど。

(2017/06/04「子の送迎 じいじの形見で」)

➤ 書き言葉には、独り言か対話かという区別はない

意志の「（よ）う」

(6) (前略) 職場に自分の傘を忘れてきたため、とっさに(孫が生まれる前に亡くなった)父の傘を手にと子どもの手を引いて保育園へと急いだ。道中、ふと傘を持つ手に温かさを感じた。私を介して父が、孫の手を握っているような感覚がしたのだ。 **そういえば父は、「俺が保育園に連れていくんだ」と張り切っていたっけな。また雨の日の送迎は、父の傘を使おう。この子が大きくなって、じいじの傘を使ってくれるといいな。それまで壊れないといいけど。**

(2017/06/04「子の送迎 じいじの形見で」)

➤ あたかも書き手が**読み手の存在を意識していない**ような印象₁₇

意志の「（よ）う」

(6) (前略) 職場に自分の傘を忘れてきたため、とっさに(孫が生まれる前に亡くなった)父の傘を手にと子どもの手を引いて保育園へと急いだ。道中、ふと傘を持つ手に温かさを感じた。私を介して父が、孫の手を握っているような感覚がしたのだ。 **そういえば父は、「俺が保育園に連れていくんだ」と張り切っていたっけな。また雨の日の送迎は、父の傘を使おう。この子が大きくなって、じいじの傘を使ってくれるといいな。それまで壊れないといいけど。**

➤ 読み手に伝えることを意図せずに、**書き手の本音**が漏れ出てしまったかのような印象を与える(野田 2006)

「（よ） と思う」

(7) (前略) 着物は美しい姿勢でなければ、美しく着られないという。そこが着物を着る上で難しいことだが、習い始めた頃は何も分からなかった私も、最近では背筋を意識して着付けをすることができるようになった。今年は着物を着て、夏祭りや花火大会に出かけてみようと思う。皆さんも着物を着て、和の心を感じてみてはいかがでしょうか。

(2017/06/29「美しい姿勢で和の装い」)

「（よ） と思う」

- (7) (前略) 着物は美しい姿勢でなければ、美しく着られないという。そこが着物を着る上で難しいことだが、習い始めた頃は何も分からなかった私も、最近では背筋を意識して着付けをすることができるようになった。今年は着物を着て、夏祭りや花火大会に出かけてみようと思う。皆さんも着物を着て、和の心を感じてみてはいかがですか。

(2017/06/29「美しい姿勢で和の装い」)

読み手への働きかけ

「と思う」の機能

- 読み手に向けて発信しているという書き手の意図が感じにくい文脈 → 「(よ) う」「たい」が単独で使われる
- 読み手に何らかの行動を呼びかけようとする文脈 → 「(よ) う**と思う**」「たい**と思う**」

書き手が読み手の存在を意識し、読み手に向けて伝えていることを明示する

	よう	ようと思う
読み手に向けて発信している意図が感じにくい文脈	9	0
読み手に呼びかける文が続く	0	4

	たい	たいと思う
読み手に向けて発信している意図が感じにくい文脈	8	1
読み手に呼びかける文が続く	2	4

「と思う」の挿入

- (9') (前略) 職場に自分の傘を忘れてきたため、とっさに(孫が生まれる前に亡くなった)父の傘を手にと子どもの手を引いて保育園へと急いだ。道中、ふと傘を持つ手に温かさを感じた。私を介して父が、孫の手を握っているような感覚がしたのだ。そういえば父は、「俺が保育園に連れていくんだ」と張り切っていたっけな。また雨の日の送迎は、父の傘を使おう。この子が大きくなって、じいじの傘を使ってくれるといいな。それまで壊れないといいけど。

「と思う」の挿入

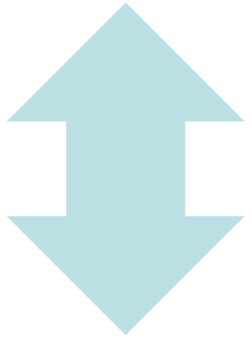
(9') (前略) 職場に自分の傘を忘れてきたため、とっさに (孫が生まれる前に亡くなった) 父の傘を手にとり子どもの手を引いて保育園へと急いだ。道中、ふと傘を持つ手に温かさを感じた。私を介して父が、孫の手を握っているような感覚がしたのだ。そういえば父は、「俺が保育園に連れていくんだ」と張り切っていたっけな。また雨の日の送迎は、父の傘を使おうと思う。この子が大きくなって、じいじの傘を使ってくれるといいな。それまで壊れないといいけど。

- 「と思う」を付けると不自然・違和感 (12人中11人)
- 読み手に向けて伝えていることを明示 → 読み手への宣言 23

結論

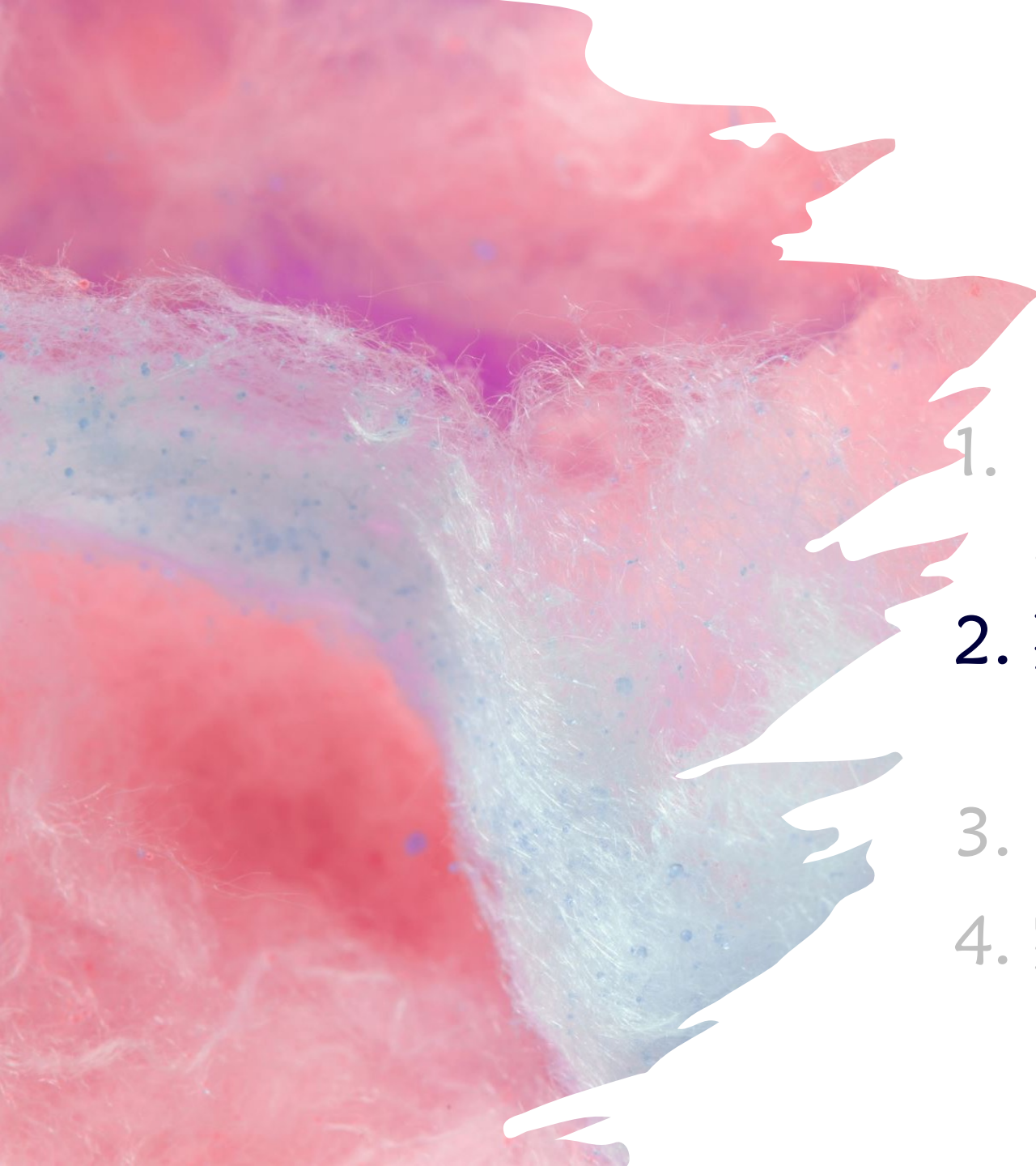
- (5) a. 今年はたくさん勉強しよう。
c. 今年はたくさん勉強したい。

あたかも読み手を意識
していないかのような
印象を付与



- b. 今年はたくさん勉強しようと思う。
d. 今年はたくさん勉強したいと思う。

読み手に向けて伝えて
いることを明示
(宣言)



目次

1. 日本語の「（よ） と思う」「たいと思う」の説明
2. 英語の *I think I will* や *I think I want to* の説明
3. 日英比較
4. 実際の誤用例

英語の場合

➤ *I think I will.../ I think I want to...*

- *I will/I want to* が「私」の意志や希望であることを表す→ *I think* 不要
- *I think* が付く場合は、確証が低いことや対人への配慮

(Aijmer 1997; Kaltenböck 2010)

(10) Are we ready to have a baby? Are we ready? *I think I will probably* ask myself this very question everyday until our child is safely delivered to this world.

(Hour 2; Michelle Lewis Discuss Her Career in Music. 23 Nov 1988)

(11) “*I think probably I would like to* go with somebody with great political experience,” Trump told “Good Morning America” today of his potential pick. (ABC NEWS. *Donald Trump Teases Possible VP Requirements*. 4 May 2016)

日本語の場合

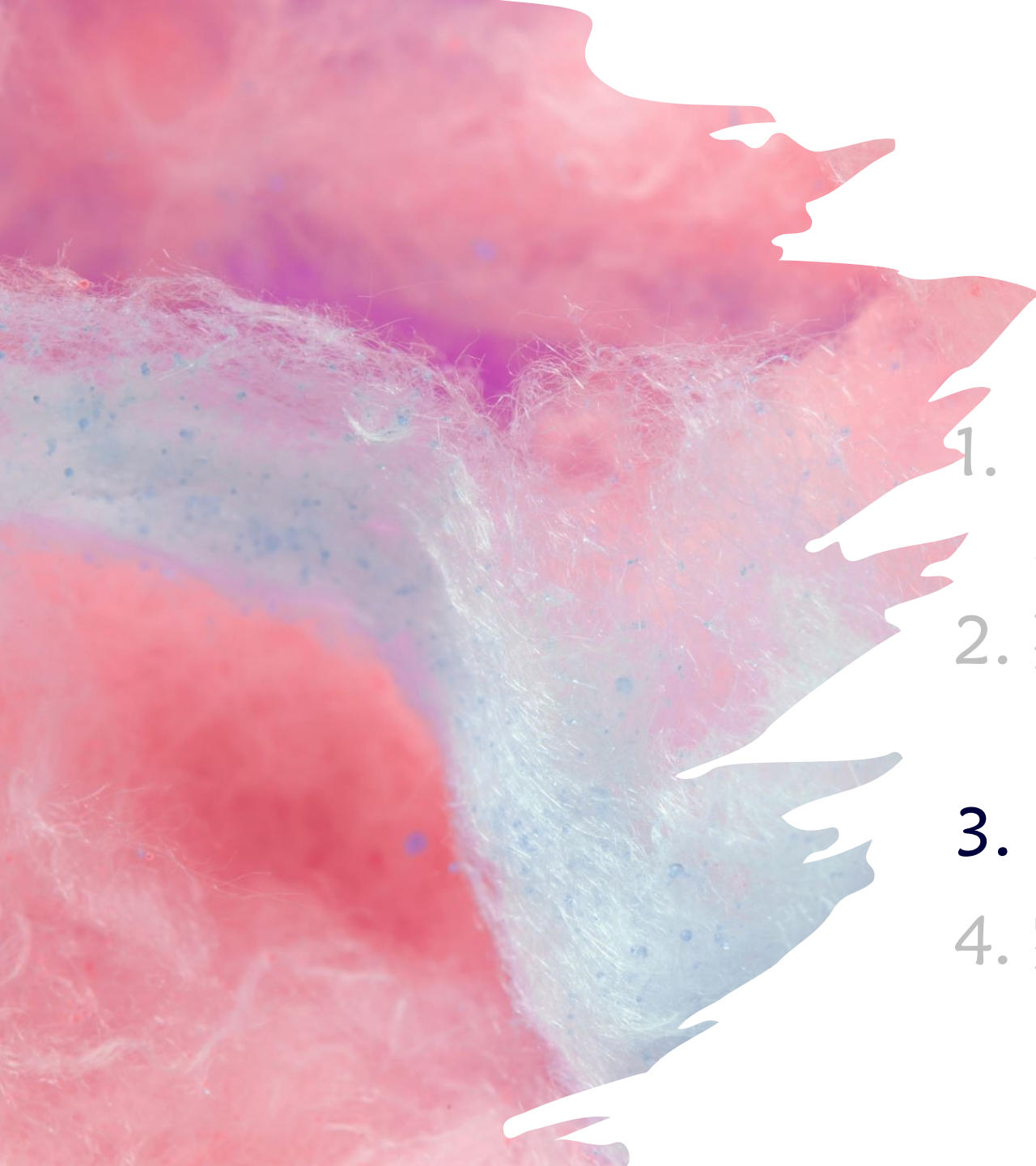
- (3) 父も他界し、今は私一人だけれど、両親への恩返しにしっかり生きていこうと思う。
(2016/02/22 「思い出胸に ひな飾り」)
- (4) 当然のように思っていたが、苦勞がわかった。母への感謝を忘れず、手伝いたいと思う。
(2016/03/08 「母の苦勞に感謝」)

日本語の場合

- (3) ?父も他界し、今は私一人だけれど、おそろく、両親への恩返しにしっかり生きていこうと思う。
- (4) ?当然のように思っていたが、苦勞がわかった。おそろく、母への感謝を忘れず、手伝いたいと思う。



不自然



目次

1. 日本語の「（よ）うと思う」「たいと思う」の説明
2. 英語の *I think I will* や *I think I want to* の説明
3. 日英比較
4. 実際の誤用例

日英比較

英語

I think I will study a lot this year.

I think I want to study a lot this year.

確証の低さ
相手への配慮

日本語

今年はたくさん勉強しようと思う。

今年はたくさん勉強したいと思う。

今年はおそらくたくさん
勉強するかな。

日英比較

英語

~~I think~~ I will study a lot this year.

~~I think~~ I want to study a lot this year.

- 不一致から誤用が生まれる
- 学習者は、読み手に伝えたいと思う時に思わず *I think* 使ってしまう

- 日本人学習者は主張の文と共に使いがち (Okugiri, Ijuin, & Komori 2017)

日本語

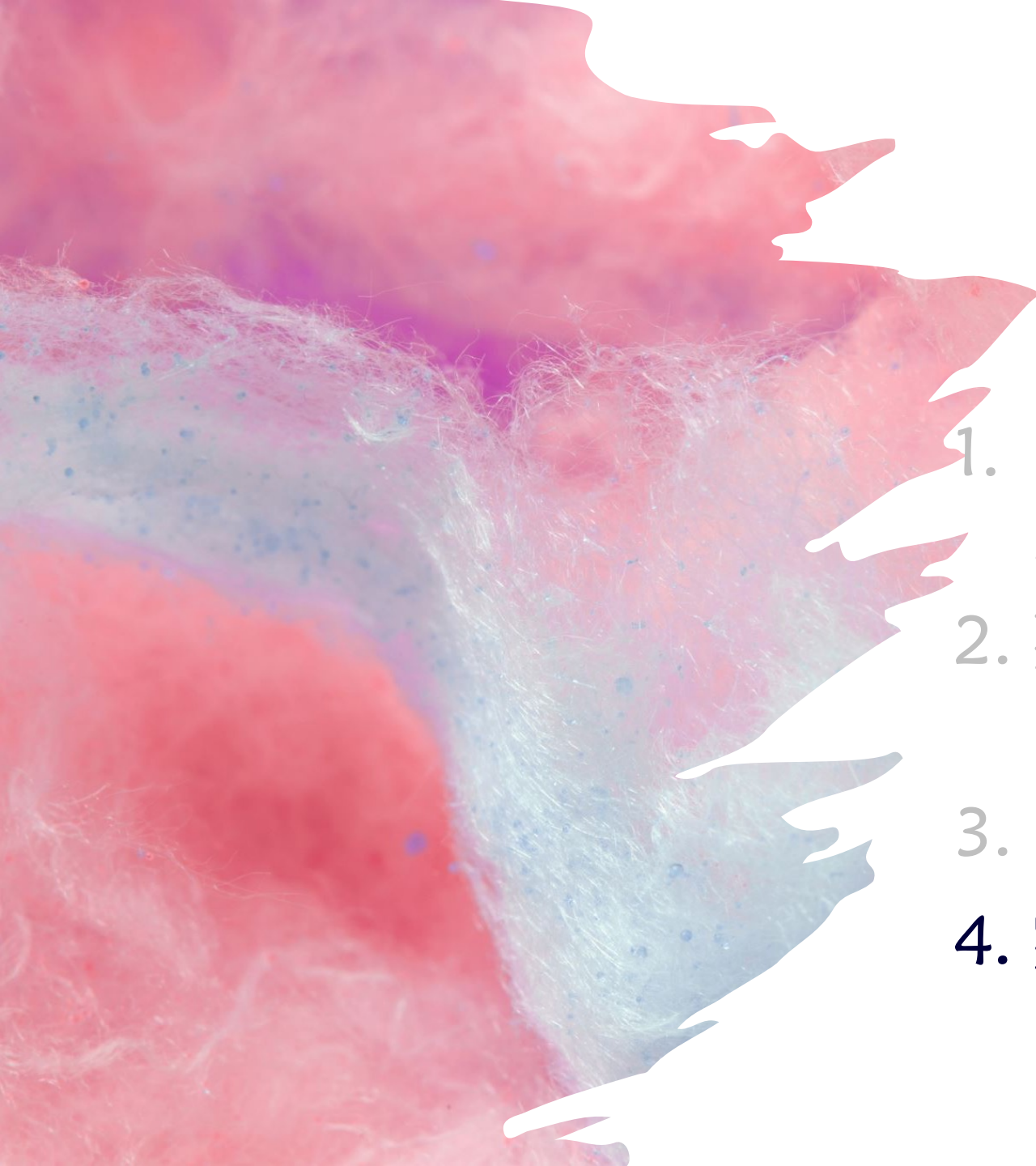
今年はたくさん勉強しようと思う。

今年はたくさん勉強したいと思う。

書き手が読み手に向けて伝えているという意図を明示

= *I tell you*

書き手が読み手に向けて伝えたいと思うときに使われる



目次

1. 日本語の「（よ）うと思う」「たいと思う」の説明
2. 英語の *I think I will* や *I think I want to* の説明
3. 日英比較
4. 実際の誤用例

学習者コーパスにおける出現数

➤ 日本人中高生のライティング・コーパス (JEFLC Corpus)

	出現数
<i>I think</i>	2043

	出現数 (割合)
<i>I think I will</i>	75 (3.7%)
<i>I think I want to</i>	19 (0.9%)

	出現数	誤用数 (割合)
<i>I think I will</i>	75	35 (46.7%)
<i>I think I want to</i>	19	13 (68.4%)

学習者の *I think*

➤ 日本人中高生のライティング・コーパス (JEFLC Corpus)

(1) [お年玉〇万円もらったら、何を買いますか?]

I was given otoshidama many than last year. ... I think try to chokinnsuru. But in saikinn, **I think I want to** buy video printer. Because I saw it nesage sareteiru in the shop.

(JEFLC_07328_Otoshidama)

(2) [大地震が来たら何を持って逃げますか?]

I think I will bring pets and 貯金通帳 Why? Because, First, I don't have brother and sister だから pets are my 大切な family. I will bring it.

(JEFLC_02923_Earthquake)

学習者の *I think*

➤ 日本人中高生のライティング・コーパス (JEFL Corpus)

(1) [お年玉〇万円もらったら、何を買いますか?]

Now , **I think I would like to** explain about Otoshidama.
Otoshidama is special money which recieve on January 1st.

(JEFL_09176_Otoshidama)

(2) [お年玉〇万円もらったら、何を買いますか?]

I will go to New York at March 20 from 31. **I think I will buy**
many おみやげ, だから I mustn't use otoshidama.

(JEFL_02024_Otoshidama)

結論

「と思う」 = *I tell you*
英語の *I think*
との不一致

I think I will や *I think I want to*
という誤用が生じる理由を、書
き言葉の「(よ) うと思う」「
たいと思う」の分析を通じて示
す

2. ライティング教育における *I think* の教授・習得には、「と思う」の用法の知識が重要

参考文献

- Aijmer, K. (1997). I think — an English modal particle. In Swan, Toril and Olaf Jansen Westvik (eds.) *Modality in Germanic Languages. Historical and Comparative Perspectives*. Berlin/New York: Mouton de Gruyter, 1-47.
- 石川 慎一郎. (2019) 「英語学習者コーパス研究の現状と課題」 『電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティ Fundamentals Review』 12(4), 280-289.
- Kaltenböck, G. (2010). Pragmatic functions of parenthetical I think. *New approaches to hedging*, 243-72.
- 金沢 じゅん (2022 採択済み) 「新聞投書における文末の「と思う」の機能」 『日本語文法』 23(1)
- 宮崎 和人 (1999) 「モダリティ論から見た「～と思う」」 『待兼山論叢 日本学篇』 33, 1-16.
- 宮崎 和人 (2001) 「動詞「思う」のモーダルな用法について」 『現代日本語研究』 8, 111-136.
- 成田 真澄 (2017) 「日本人大学生が産出した文における主格人称代名詞使用傾向の分析」 『東京国際大学論叢 人文・社会学研究』 2, 1-20.
- Natsukari, S. (2012). Use of I in essays by Japanese EFL learners. *JALT Journal*, 34(1), 61-78.
- 西谷 工平・中崎 崇・ダンテ ローレンス (2016) 「日本語から英語への機械的置換が産出する英語での意味的冗長性：「と思う」と“I think”を例に」 『教育実践学研究』 18(1), 1-9.
- 仁田 義雄 (1991) 『日本語のモダリティと人称』 東京：ひつじ書房.
- Okugiri, M., Ijuin, I., & Komori, K. (2017) The overuse of "I think" by Japanese learners and "to-omou/to-kangaeru" by English learners in essay writing. *Proceedings of PacSLRF 2016*, 163-168.